

## 平成29年度第5回宝塚市パブリック・コメント審議会議事録

- 1 開催日 平成29年11月13日(月) 10時00分～10時40分
- 2 開催場所 宝塚市役所3階 特別会議室
- 3 出席者 委員8名、事務局4名
- 4 議事  
(1) 平成29年宝塚市諮問第17号「平成28年度パブリック・コメント手続の実施及び運用状況の評価について(答申)(案)」について

○事務局 <開会>

出席者委員の報告。8名中8名の出席で、審議会は成立。傍聴希望者はなし。

○会長 前回までの意見をいただき、「平成28年度パブリック・コメント手続の実施及び運用状況の評価について(答申)(案)」を送付している。この答申案について追加・修正について意見を頂戴し、後日市長に答申を考えている。まずは事務局から簡潔に答申案について説明をお願いします。

○事務局 各委員から提出いただいた評価やコメント、審議会で審議いただいた内容を答申案としてまとめたもの。まず、1枚目の1番に、「パブリック・コメント手続を行った案件についての評価」、昨年度パブリック・コメント手続を行った案件、17件についての全体的な意見を記載している。2番として、「パブリック・コメント手続を行わなかった案件について」記載。平成28年度はパブリック・コメント手続を行わなかった案件は無かったので、事務局の報告を了承いただいた旨を記載。3番として、「パブリック・コメントの運用状況の評価」を記載。1番、2番の記載内容を踏まえ、パブリック・コメント手続が適切に運用されていた旨の結論を記載。次に別紙として、A3用紙に「パブリック・コメント手続を行った案件の個別評価」として、表形式でA～Eの総合評価と評価コメントを記載。評価コメントは審議会で各委員からご指摘のあった主な事項を記載。最後の3枚目は、審議会の委員名簿と、審議いただいた日程を記載。以上。

○会長 これについて、各委員から意見(修正・追加等)を頂戴する。

○委員 この内容でよろしいかと思う。

○委員 異論なし。

○委員 内容としては問題ない。

- 委員 1 ページ目の下から8行目に、「官僚的な回答」という表現がいいのかどうか、気になった。
- 委員 「官僚的」という言葉は気になる。この部分をなくしてただ単に「関係部局に繋げることを含め」に跳んでも良いかと思った。手続の総合評価のところ、6番目の「手話・言語条例（案）」について評価が「C」となっているが、評価については異論がないが、「インクルーシブ」という言葉が分かりにくいのでとあった。修正を行っていないが、これについては説明があったと思う。障害福祉課の担当者が、「インクルーシブ」という言葉を、今後市民の方々にも広げたいという意味のことが書かれていたと思う。一切、何も修正・説明もしていなかったわけではない。何もしていないわけではないことをどこかに書いておいた方が良いのではないか。
- 委員 意見としては特になし。8番目の「公契約」について、多くの意見が寄せられた件について、「次年度以降再評価を行う」とあるが、再評価を行う理由を記載しても良いのではないかと思う。
- 事務局 3枚目の日程表に、「結果公表が行われていなかったことから、今年度は評価しないことに決定した」と記載。それに合わせて記載するようにする。
- 委員 総合評価で「B+」と出てきたが、今後「A-」や「C+」と出てくるのはややこしいのではないか。再度「ABCDE」にし、「B+」を「B」にするのか「A」に上げるのか、評価の基準を決めてほしい。
- 委員 1点目が、2段落目の終わり「いただきたい」の後で改行し、さらに結果公表の表紙において、修正したか否かの回答を示してほしい。加えて多くの意見が寄せられた場合、内容を分類してほしい。自己の意見に対して応答がわかる工夫が、行われるように望みたい。修正したか否かは、「修正した意見が1件、他は全部そのまま」という記述があるのもある。記載しているものと無いものがあるのを、統一してもらいたい。結果公表箇所を改行して、上記をさらにで続けてもらっても良い。
- また、「官僚的」は良い表現があれば、ここで決めても良い。
- 最後の行「パブリック・コメントの運用状況の評価」だが、責任が非常に不明確。審議会がこの点についてどうなのかを明らかにすべき。もし何かがあれば審議会が責任を負う。
- 「事務局は審議会の評価報告を踏まえて、チェックリストを作

成した」「審議会はマニュアルを是として認めた」を記載すべき。審議会が作成したと捉えられるので、事務局が作成したことを記載すること。

- 会長 「官僚的な回答を～」を、「形式的な～」に変更するのはどうか。
- 委員全員 意見一致。(形式的な～に修正)
- 会長 では今までの意見を踏まえて修正文の作成を事務局にお願いする。特にマニュアルは審議会が作成したものではないので、事務局が作成したと記載。審議会はそれを承認していると。
- 評価方法についてだが、現段階の評価では「A」が出ることはほとんどない。5段階評価でよいのか。
- 委員 「B+」を「A」にするのはどうか。
- 委員 評価できる点が多いということで、「A」にしても良いのでは。
- 会長 今回「B+」と評価したものは「A」評価に。「例年、A～Eの5段階で評価～」は削除。続いて各論について意見を頂戴する。
- 委員 あまりにも丁寧な回答するものかどうかと思うので、簡潔にまとめられたこの案で良いと思う。
- 委員 このままで良いと思うが、5段階で評価することについて、評価基準が多すぎるから、評価が分かれるのではないか。A～Eの判定基準自体をもう少し絞りこんで評価をするとメリハリがあり、良いのではないか。結果的に今回の評価もA～Cまでの3段階しかない。5段階に分ける意味はあるのかという気がした。
- 委員 どの案件についても地図は必須だと考える。
- 委員 8番の公契約条例に関する案件ですが、条例自体を再検討するということか。
- 事務局 そういうことである。
- 委員 全体によくまとめられているが、
- ①結果と募集段階と順序を変えてほしい。
- ②「9 水道事業経営戦略、下水道事業経営戦略」について、「計画案は、見やすくわかりやすい構成となっている」と「資料は丁寧に作りこんでいるが、情報量が多く、理解するのに膨大な労力を要する」というのが矛盾していないかと気になった。両方とも募集段階の話である。
- ③「8 公契約に関する～」について
- 「多くの意見が寄せられたが、」を「多くの意見が寄せられたために」に変更。
- 「次年度以降、再度評価を行う」を「今年は評価しない」の方が

良いのでは。

④「11 空き家対策～」について

「意見募集において、計画案のポイントとして「法第6条第1項に基づき」との記述は、「適切ではなくわかりやすく説明した方が良い」と修正。

⑤「14 交通安全計画」について

1番目と3番目で少し矛盾が生じていないか。「総括、特徴の記入が必要である」と「計画案は文章が多い」が全部意見募集の話であるが、もう少し整理できないか。

⑥「16 病院改革プラン」について

「説明がわかりやすくまとめられている」と記載があるが評価「C」である。概要版がないという点でマイナスだが。

○会長 いただいた意見を踏まえ、総合評価の一覧表を書き加える。地図はハードものについては必須というのをどう書くか。

○委員 もう少し強調した方が良いが、総合評価のところで、地図や図面を添付すると書いている。地図がどうしても必要なものをピックアップして地図が必要と、必要な案件について記載をすればよい。既に入れている案件については問題ない。

○会長 事務局の方で判断し、評価コメントのところに「当該施設の場合は地図の添付は不可欠である」という意見があったと追加するように。

○委員 パブリック・コメントをする際に、地図があった方が意見を出しやすい案件については、記載してもらえたらと思う。

○会長 ラインが必要な案件もある（下水道網・上水道網など）。その点も踏まえて、本文には記載があるので、評価コメントで「該当するところに、地図が不可欠ではないか」という指摘があったという記載をお願いします。

また、評価コメントの時間軸について、募集段階・結果段階と並びを統一していただきたい。

以上、再度加筆・修正をお願いします。

それでは、委員の方から頂戴した意見をもって再度答申案を修正し、各委員に送付する。最終的に確認いただいたうえで、異議がなければ市長に答申する。市長に答申を渡すのは、12月25日（月）午前10時。こちらで問題ないか。

○委員 総合評価のランキング表からも「B+」を消すように。

○会長 事務局から連絡があれば。

○事務局

答申提出日の当日の集合場所・時間については追って連絡する。

○会長

以上で本日の審議事項を全て終了する。